



ふりかえりシート



あなたのかけた言葉は、子どもを傷つけていませんか？あなたのかかわりを、子どもは心地よく感じていますか？その言葉やかかわりを、もう一度振り返って見つめてみましょう。子どもの言葉にならない思いを拾いあげ、その行為の背景にあるたくさんの意味を考えながら、目の前にいる子ども達にどのような言葉がけや、かかわりをすることが『子どもを尊重する保育』につながるのか、一緒に考えていきましょう。

場面	適切ではないかかわり	ポイントとアドバイス	ふりかえり (状況・気付き等)
クラス活動 その他	子どもの名前を呼び捨てやあだ名で呼んでいませんか？	名前は子ども自身です。親しみを込めたものであっても、呼び捨てやあだ名で呼ばず、きちんと敬称をつけて呼びましょう。	
	泣いたり困っている子どもを、そのままにいませんか？	どうして泣いているのか、何に困っているのか等理由を考えてみましょう。そして、子どもに合った対応を考えましょう。	
	保育士の都合だけでいつも遊びや遊具の使い方を制限していませんか？	安全上制限することもあります。安全面の確保ができた時は、子どもが主体的に遊ぶことができる環境を整えましょう。	
	子ども達の前で、家庭状況等、個人情報がかかることを話していませんか？	子ども達の前であっても、守秘義務を守りましょう。	
	子どもに何も伝えずに、急におんぶしたり抱き上げたりしていませんか？	不意に動かされる子どもの気持ちを考えてみましょう。まだ話せない子どもでも、声掛けをしてから関わりましょう。	
	性別によって色を決めたりしていませんか？	性別でこうあるべきという発想ではなく、子どもに選ばせる等、自由な発想を大切にしましょう。	
	保育士の話を聞かないからと、部屋の外に出していませんか？	場所を変える必要がある場合には、保育士も一緒に出て、話をしましょう。	
	噛みつきが起きた時、噛みついた子をむやみに叱ったり、友達とのかかわりを制限したりしていませんか？	どのような場面で起きるのか、なぜ起きるのかを考え、未然に防ぐ環境の工夫や働きかけをしていきましょう。噛みついた子にも伝えられない思いがあることに気付き、寄り添うことが大切です。	

ふりかえりシートの項目は、これがすべてではありません。各保育所で項目の加筆をし、完成させてください。また、それぞれの項目の答えはありません。他の人の意見を聞いたり、話し合いをすることで、見えなかった問題や答えが見えることもあるのではないのでしょうか。是非そのように活用していただければと思います。「自分がそうされたら、どんな気持ちだろう。」と立ち止まって考えることが子どもの人権への配慮につながります。

場面	適切ではないかかわり	ポイントとアドバイス	ふりかえり (状況・気付き等)
クラス活動 その他	運動会やお遊戯会など行事において、内容を保育士が全部決めて進めていませんか？	子どもであっても意見を言う権利があります。主体である子ども達の興味関心に応じて一緒に作り上げていきましょう。	
	子どもの身体や服装について、子どもを無意識に傷つけていませんか？	体型や、着ている服の色やデザインなど保育士の何気ない言葉で傷つくことがあります。家庭の事情も考慮しましょう。	
食 事	一品ずつ食べ終わってから配膳したり、苦手な物から勧める等していませんか？	残さず食べて欲しいという思いが、子どもを苦痛にしているいませんか？子どもが自ら選択できるような配慮をしましょう。	
	食べる前や食べ終わってからずっと座らせている等、年齢に合わない待たせ方や食事時間の設定をしていませんか？	発達にそぐわない待たせ方をせず、準備の時間や食後の過ごし方の工夫や配慮をしましょう。	
	ご飯やおかずを主菜・副菜関係なく混ぜ合わせたり、掻き集めて食べさせていませんか？	そうした方が食べるからという判断を安易にせず、一人ひとりの子どもの要求に応じた対応を心掛けましょう。	
	残さないで食べるように強く促したり、「これを食べないとデザートはあげません」等と言っていないですか？	個々の食事量を把握し、子ども達にとって食事が楽しい時間であるよう配慮しましょう。	
着替え 排 泄 午 睡	おねしょやおもらしをした際、着替えを用意する等の配慮をせずに、先に服を脱がせたり他児の前で着替えさせたりしていませんか？	年齢によっては自尊心が傷つきます。周りの子ども達から見えない所で着替えさせましょう。また、小さな子どもでも、プライバシーは尊重されなければなりません。	
	おねしょやおもらし等の報告や引継ぎを子ども達に聞こえるように話していませんか？	本人や、周りの子ども達にも聞こえないように話す配慮をしましょう。	
	プール遊びなどの後、体を洗う際に全裸にしたまま並ばせていませんか？	年齢によっては、男女別にしたり、体を洗う直前に水着を脱いだりする等の配慮が必要です。	

こんな場面で、あなたならどのような対応をしますか？

答えはありません。職員同士で話し合ってみませんか？

事例1

連絡がないまま、登所が遅くなることが多い3歳のAちゃん。この日も保護者はあわただしく担任と挨拶を交わし急いで出掛けて行った。Aちゃんは少し呆然とした様子で、下駄箱の前で立ち尽くしている。担任は、なかなか入ってこないAちゃんに対し「何してるの？早く靴を脱いで入っておいで！」と強い口調で保育室に入るように誘った。

対応について考えるポイント



- *なぜ保育所に連絡なく、登所が遅れるのでしょうか？
- *登所時のAちゃんの気持ちは、どのようなものでしょう？
- *強い口調で誘っている保育士の気持ちは、どのようなものでしょう？



事例2

4歳のBちゃんは、毎日のように午睡時におねしょをする。今日も午睡の途中でおねしょと共に目覚めるが、すぐには言い出せず、布団の中でじっと待っていた。午睡が終わり、布団を片付ける時に先生に「おしっこがでた」と泣きながら伝えた。担任の先生は、Bちゃんに対し「なんでおしっこがでた時に言ってくれなかったの？すぐ言ってくれたら早く着替えられるし、お布団も臭くならないのに。でた時にすぐ言わなきゃダメでしょ！」と言った。

対応について考えるポイント



- *すぐに言い出せないBちゃんの心情はどのようなものでしょう？
- *先生に伝えたかったことはなんですか？
- *Bちゃんはなぜ泣いていたんでしょうか？

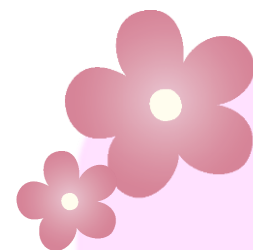
事例3

新年度が始まって、保育所は入所したばかりの子ども達が泣きの大合唱。フリーの保育士や看護師も入って手伝うが、ベテランのC先生はあまり抱っこすると「抱き癖がつく」と嫌がった。2年目のD先生が泣きじゃくる子を散歩車に乗せてテラスを散歩しているが、泣き止まないのを抱っこをすると、D先生の肩でスースー寝入った。するとC先生は「布団で寝る癖をつけないと抱っこでしか寝ない子になっちゃう。」と呆れた様子だった。

対応について考えるポイント



- *抱き癖がつくという旧習をどのように考えますか？
- *入所したばかりの子どもの泣いている理由は、ひとつでしょうか？
- *眠りたい時に眠るという子どもの欲求はどのように実現されるべきでしょうか？
- *「癖がつく」という表現に込められたC先生の保育の特徴とは？



あなたのかけた言葉は、子どもを傷つけていませんか？

さらなる人権保育の実践を目指すための ふいかえりシート

～人権保育が活発に語られる保育所へ～

子どもの人権を尊重する保育をみんなで考えていきましょう！



子どもの人権・人格の尊重は従前より児童福祉の本格的な理念です。

近年、子どもの気持ちに寄り添い、その人権・人格を尊重するという意識が、保育現場だけでなく、広く一般においても高まりを見せており、かつては問題視されなかった行為や言動でも、より繊細な配慮が求められるようになってきています。

一方、昨今全国的に、保育施設における「不適切な保育」が取りざたされており、保育士等一人ひとりの子どもの人権や人格尊重に関する理解の不十分さなどが原因の一つとされています。

そこで、本市では各保育現場において、これまで以上に一人ひとりの子どもの「人権の尊重」が活発に語られる風土が醸成されるよう、「さらなる人権保育の実践を目指すためのふりかえりシート」を作成しました。

国等で作成された「不適切な保育の未然防止及び発生時の対応についての手引き」（厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業作成）や「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」（全国保育士会作成）とともに、当シートを活用し、それぞれの施設においてご自身の保育を振り返るとともに、職員同士で「人権の尊重」について話し合ってくださいますようお願い申し上げます。

郡山市は、2021年11月に「子どもの想い」を第一に考える
まち こおりやまを基本理念に「郡山市保育・幼児教育ビジョン」を策定し、保育の質の向上を目指して取り組んでいます。

